

PKSHA

WORKPLACE

PKSHA Workplace(パークシャ・ワークプレイス)は、日本特有の働き方の課題解決に向き合い、従業員体験の向上に日々悩まれる経営者の方々に対して、社員の才能や熱意が最大限発揮されることを支援する

AI SaaS 製品を企画・開発・販売していくべく設立されました。

AI SaaS製品の提供を通じて、ハイブリッド・ワーク時代に合わせた新しいコミュニケーションのあり方を提案しています。

社内コミュニケーションのDXを実現する AI SaaS

PKSHA

AI Helpdesk for Microsoft Teams

社内問い合わせの全てをTeams上に集約 使えば使うほど賢くなるAIヘルプデスク

Teams上に問合せ窓口を設置し、従業員から寄せられた社内問合せの管理を強力にサポート。

対応チームの割り当てやチケットの管理、日々の対応状況のレポート・ダッシュボード化をTeams上で実現します。

さらに、対応履歴からFAQを自動生成し、チャットボットによる自動応答に繋げることも可能。

チューニングに工数をかけなくても、使えば使うほど賢くなるAIヘルプデスクを提供します。

PKSHA Chatbot

数行のタグをWEBサイトに埋め込むだけで導入できる、国内シェアNo1のAIチャットボット。専門知識がなくとも、問合せ対応の自動化・省力化を実現できる強力なツールです。

PKSHA Voicebot

毎月25万件以上のコールに対応しているボイスボット。電話対応を自動応答化し工数削減とユーザーの満足度を両立します。

PKSHA FAQ

誰でも簡単にFAQの作成・公開・分析・運用改善ができるナレッジマネジメントシステム。はじめてのFAQ導入も安心してご利用いただけます。

PKSHA Knowledge Maker

高精度の自然言語処理技術により、メール・チャットデータ・マニュアル・製品カタログのデータから“Q”と“A”を抽出し、FAQを自動作成します。

チャットボットソリューションシェアNo.1



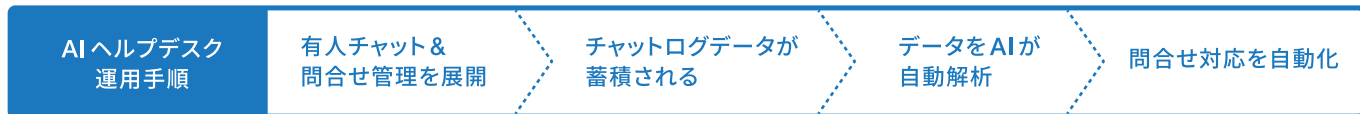
※1: 出典: 富士キメラ総研「2022 人工知能ビジネス総調査」

※2: 出典: デロイト トーマツ ミック経済研究所「マーケティング市場の現状と展望2022年度版 クラウド型CRM市場編(第6版)」 ※3: 2022年9月現在

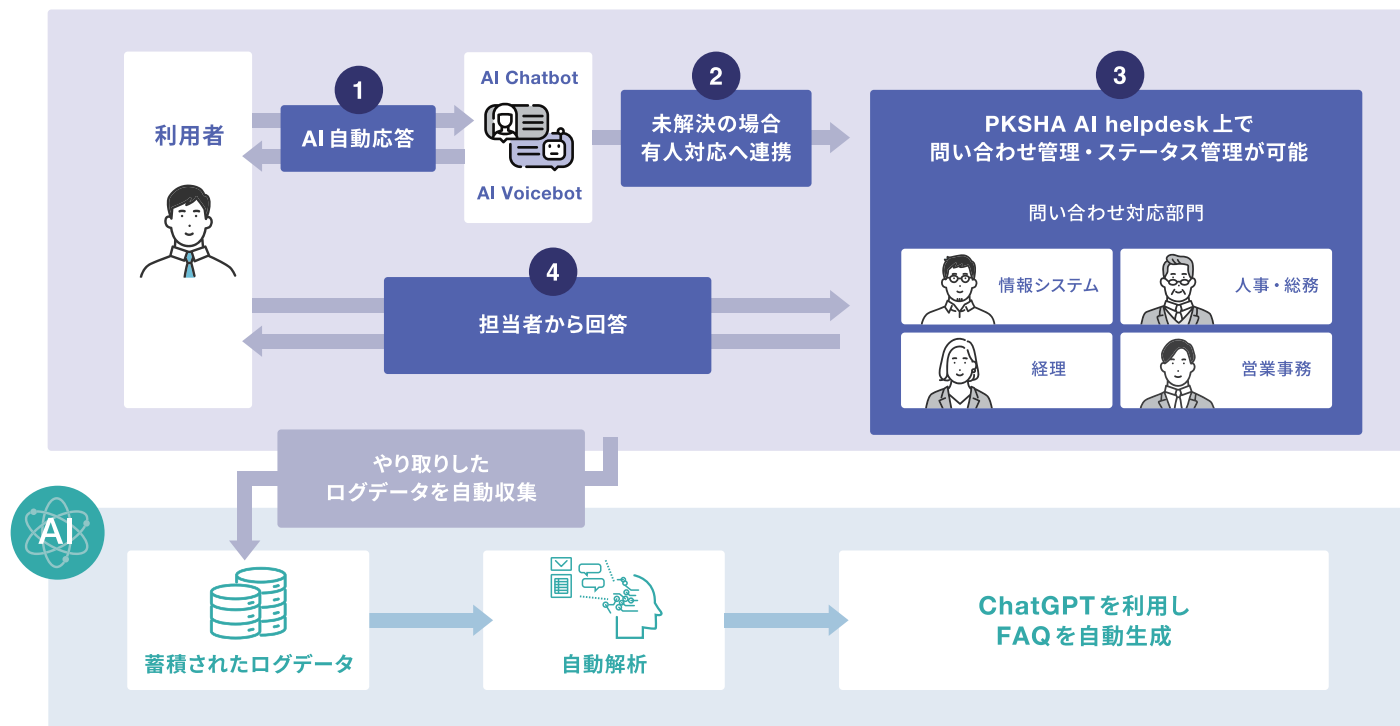
PKSHA

AI Helpdesk for Microsoft Teams

組織内で通常の問い合わせ対応業務をしていれば、
AIが問合せ履歴を解析し、FAQを自動生成。
使えば使うほど賢くなるナレッジ共進化型の新しい形のヘルプデスクとして
コミュニケーション改革を通じて、DXを実現します。



通常業務の社内問合せ対応をしていれば、AIによって勝手に自動化されていく



多数の導入実績

三井不動産株式会社 立教大学 ネグロス電工株式会社 株式会社十六銀行 ミズノ株式会社 デンソー株式会社
立命館大学 船井総研コーポレートリレーションズ パナソニック フィナンシャル&HRプロパートナーズ 山形大学
三菱商事株式会社 京都橘大学 出光興産株式会社 株式会社北國銀行 東亜建設工業株式会社 国分グループ本社株式会社
京葉銀行 株式会社KDDIエボルバ 三井住友海上火災保険株式 など

